

2015年(平成27年)10月6日(火曜日)

室蘭・海星学院高

被災地・釜石を応援

募金3万円超集まる

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、232人)は、東日本大震災被災地の岩手県釜石市の仮設住宅で暮らす人々への支援として、3万212円の募金を集めた。

呼び掛けの中心メンバー



は、7月7、11日に現地に派遣され傾聴ボランティアなどに取り組んだ1年生の伊藤千澁さん、下田蒼さん、中村仁南さん、松井玲菜さん、2年生の大谷優生さん、下司知実さんの6人。

9月1日に全校生徒を前に活動報告を行った際、募金を呼び掛け、校内に募金箱を設置。同28日までに生徒たちや同窓生から善意が寄せられた。6人は「たくさん集まり、皆さんに感謝したい」と話す。

募金は6人の活動拠点となったカリタスジャパン釜石ベース(釜石カトリック教会内)に送られる。今後は校外での活動報告や、仮設住宅で暮らす人々へ贈るクリスマススクッキー作りなどをを行う。(成田真梨子)

集まった善意に感謝する釜石ボランティア派遣メンバー